

Micro加工技術コンテスト

| Expert Bisai Creators **Contest** 2025 審査員 講評

「微細加工技術」が新領域の市場を創造するために
～ 微×美”を学生・若手技術者が自由な発想で形にする！ ～

審査委員長 前田 正史

京都先端科学大学学長



若手技術者部門では、株式会社MOLDINOの「削り出しビスマス結晶」が、結晶のフラクタル構造や構造色を切削のみで表現した点で群を抜いており、「削れない形」への挑戦そのものが高く評価されました。

また、「超硬サイコロ」や「超小型高精度やじろべえ」、「一目千分の一桜」なども、潜像加工や回転機構、異素材表現といった独自の工夫が光り、現場技術の幅広さを実感させる作品でした。学生部門の「精密なる炭鉱夫」は、真鍮加工の完成度に加え、地域の歴史を題材にした着想が印象的で、技術を社会に伝える力を感じました。

審査員・マニユファクチャリング

中尾 浩治 一般社団法人日本バイオデザイン学会特別顧問



Expert Bisai Creators Contest 2025 の【1インチ 学生部門】優勝作品である「精密なる炭鋤夫」は、技術と地元のエネルギー産業に焦点を当てた貴重な作品に仕上がっている。

また、【1インチ 若手技術者部門】優勝作品である「削り出しビスマス結晶」はフラクタル構造という解りにくさ、色合いの面白さを融合させた作品に仕上がっている。

審査員

河合 哲哉

カシオ計算機株式会社常務執行役員技術本部長



今年のコンテストも学生から若手技術者まで挑戦の幅が広がり、
加工・加飾技術の精度と表現力が進化している作品が増えたと感じました。
特に独創性と試行の積み重ねが際立ち、
微細加工の新たな可能性を示す作品が多かったことを評価します。
今後も皆さんの技術力向上に期待します。

審査員・和紙作家

堀木 エリ子 株式会社堀木エリ子アンドアソシエイツ 代表



「美」「驚」「技」の三つの視点から審査させていただきました。

「技」については、高いチャレンジ精神が感じられる作品が多く、ものづくりの楽しさが強く伝わってきました。

「美」については、完璧な形状や高度な加工技術を追求した作品が多くありましたが、一方で、不完全さや制作過程を残すことで、より美しい形状を生み出す可能性のある作品もありました。今後は、偶然性やアナログな要素に関わる美しさについても、視点を広げていただければと感じました。

「驚」は、作品の造形だけでなく、光による陰影の演出や台座のデザインといった「見せ方」への工夫からも見いだされました。

どのように作品を提示するかという思考の深さまでが評価対象となり、大変興味深く、楽しい審査会となりました。

審査員 ・ プロダクトデザイン

高橋 学 マナブデザイン株式会社代表取締役



今年も微細加工技術の可能性と挑戦する姿勢が強く伝わる作品が数多く集まり、大変見応えのあるコンテストとなりました。

熟練技術者による完成度の高い作品とは異なり、学生や若手技術者ならではの柔軟な発想やアイデアを活かした意欲的な取り組みが印象的でした。先輩から後輩へと技術だけでなく思想も受け継がれていることを実感しました。コンテストのための作品に留まらず、その先の展開やビジョンまで描かれることで、より大きな価値につながると感じます。

本コンテストを起点に、同業・異業種連携や産学連携がさらに広がり、微細加工技術が新たな価値創出へと発展していくことを期待しています。